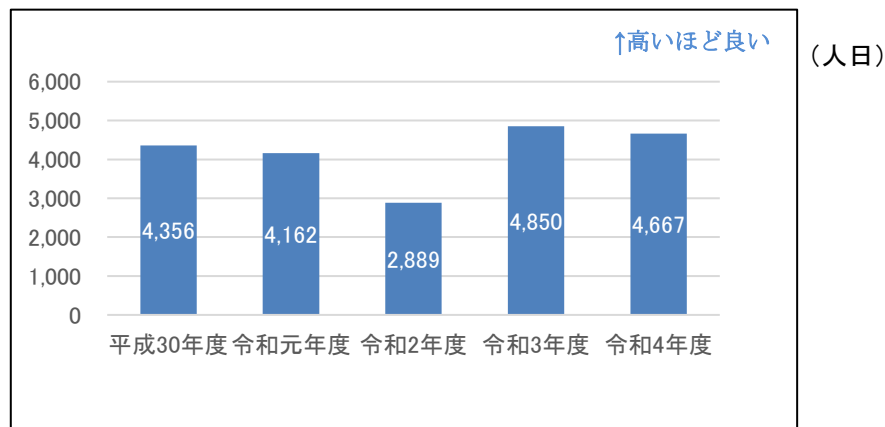


39 看護学生の受入実習学生数(自大学から) (人日)

○項目の解説

国立大学附属病院は、看護師を目指す学生の教育に社会的責任を負う必要があります。その看護学生実習に関する教育体制が整っていることを表現する指標です。単に受け入れ人数ではなく、延べ人数(人数×日数)とし、臨地実習に対する貢献の程度を評価します。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、旧カリキュラムと新カリキュラムの学生が混在した年度であり、実習時間が多かったため受け入れ人数の増加につながりました。

令和4年度は、新カリキュラムのみとなったことや、新型コロナウイルス感染症の影響から、やむを得ず一部中止となった実習もあり受け入れ人数が減少したと考えます。

看護部では、看護学科と連絡を密にし、患者・学生・医療者が安心して実習を行えるよう、感染防止に考慮した実習体制について検討し、体制を整えています。また、受け入れ部署においても実習が充実するよう、学内特別講師が教員と情報共有しながら指導を行っています。

今後、時代は、ウィズコロナからポストコロナ、アフターコロナへと移行していきます。より看護学科との連携、協働を図り、学生が実習を通し知識・技術の統合、患者や医療者との関係性の構築など臨床での学びが充実するよう取り組んでいきます。

○定義

当該年度1年間の保健学科・看護学科等の自大学の実習学生延べ人日(人数×日数)です。

一日体験実習は除きます。

研修前の事前学習にあたる E-learning は含みません。

○算式

人日(人数×日数) ※小数点以下切り捨て